

「学級経営の視点」からの不登校の未然防止

児童生徒は、友だちとのかかわりや、教職員とのかかわり、授業や部活動への参加など、様々なかかわりの中で毎日を過ごしていますが、学校で過ごす1日の生活の中では、「うれしい」「楽しい」と感じるばかりではなく「嫌だな」「困ったな」と感じることもできます。児童生徒が、それを乗り越えていくためには、本人の頑張りだけではなく、本人を周りで支える友だちや先生のかかわりが重要です。Q-Uの結果や教育相談アンケートなどを参考にしながら、悩みや不安を抱えている児童生徒の早期発見・早期対応を行うとともに、どの児童生徒にとっても「居心地の良さ」が感じられる集団づくりに努めるようお願いします。

毎日の学校でのかかわりの中で
集団と個人をともに育てる

キーワードは
「安心感」



「居心地の良さ」が感じられる集団づくりを行う

集団を見る視点



児童生徒が「安心」して毎日を過ごすためには、一定の集団のルールを保ちながらも、気軽に声をかけ合えるような温かい雰囲気が大切です。

バランスが取れていると集団が安定します

ルール

集団の中で安心して生活するための基本的なルール

リレーション

安心して本音を言い合えるような人間関係

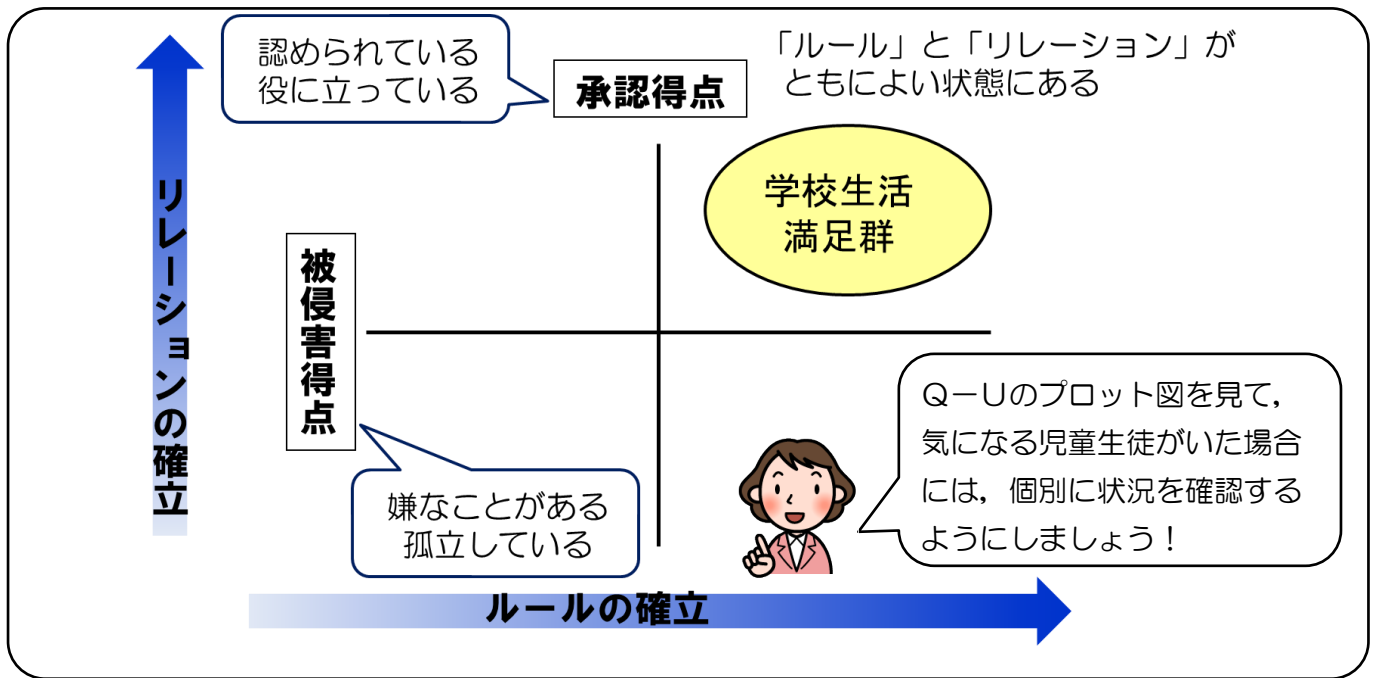
☆ルールの確立

☆リレーションの確立



Q-Uの結果をもとに、集団の現在の状態を把握して、現在の状態に合った支援をしましょう！（裏面参照）

Q-Uのプロット図の見方



集団の現在の状態に合った支援



自分の学級経営を振り返って
みるのが大切です。

縦に伸びている場合には

～ 集団の特徴として考えられること ～

- ・管理型の学級になり、柔軟さに欠けている。
- ・集団に認められていないと感じている児童生徒がいる。
- ・みんなで協力して何かをやろうとする意欲に欠けている。



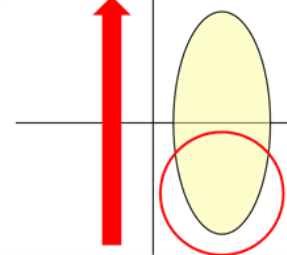
認め合う雰囲気を作る

- ・「挨拶」「励まし」「称赞」等の言葉かけを積極的に行う。
- ・児童生徒同士がかかわり合う場面や、認め合う場面を増やす。

多様なよさが認められていますか？
特定の児童生徒だけが認められて
いませんか？



承認得点



意図的に高める活動・配慮

横に伸びている場合には

～ 集団の特徴として考えられること ～

- ・なれあい型の学級になり、私語が多くなっている。
- ・基本的な集団のルールが希薄になっている。
- ・活動意欲は高いが、トラブルが多くなっている。



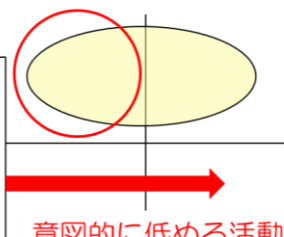
安心して過ごせるルールを作る

- ・活動する前に、活動のルールを明確に示す。
- ・ルールを守って活動できたときには、積極的にほめる。
- ・ルールが守られていないときには、その場で指摘する。

ルールに一貫性がありますか？
ルールが曖昧になっていませんか？



被侵害得点



意図的に低める活動・配慮